

社会人受講生募集案内

平成 22年度 (後期) 大学院科目等履修生・学部開放授業受講者

浪切ホールで和歌山大学および大学院の授業を開講しています。



和歌山大学 岸和田サテライト

〒 596-0014
岸和田市港緑町 1-1 岸和田市立浪切ホール 2F
TEL 072-433-0875

車で.....阪神高速湾岸線利用で、大阪市内から
岸和田南 〇へ約 25分、関西国際空港から
岸和田南 〇へ約 10分、岸和田南 〇を降りて
約 1分。

電車で...南海本線「なんば」駅から特急で
「岸和田」駅へ約 20分 (ラビート 停車駅)。
岸和田駅から徒歩 15分。

バスで...岸和田市内循環線「ローズバス」を
ご利用下さい。



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

和歌山大学岸和田サテライト

目 次

和歌山大学岸和田サテライトの紹介.....	2
1. 平成 22年度後期開講科目.....	2
2. 和歌山大学岸和田サテライトでの受講モデル.....	3
3. 2つの受講制度.....	4
大学院科目等履修生の募集.....	6
1. 出願および履修願の手続き.....	6
2. 付属用紙	
ア岸和田サテライト大学院科目等履修生願書.....	8
イ履歴書.....	9
ウ平成 22年度後期検定料の納入について.....	10
エ履修願.....	11
学部開放授業受講者の募集.....	12
1. 登録および申請の手続き.....	12
2. 付属用紙	
ヤ学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書.....	14
ユ学部開放授業聴講申請書.....	15
ヨ平成 22年度後期開放授業の登録料・聴講料の納入について.....	16
平成 22年度後期 岸和田サテライト開講授業	17
1. 平成 22年度後期岸和田サテライト大学院授業科目.....	17
2. 平成 22年度後期岸和田サテライト学部授業科目.....	22
3. 授業担当教員プロフィール.....	23
問い合わせ先.....	32

和歌山大学岸和田サテライトは、岸和田市をはじめとした南大阪地域における住民主体の地域づくりと次代を担う人材育成に取り組んでいます。

和歌山大学は、大阪府岸和田市との地域連携推進協定にもとづき、平成18年4月、岸和田市立浪切ホールに岸和田サテライトを開設しました。本学が有する高等教育機能を活用して、社会人としてのスキルアップや地域発展のニーズに即した大学院科目・学部科目を開講しているほか、専門性豊かな生涯学習の拠点として、一般市民を対象に公開講座やセミナー等も実施しています。

幅広い年代の社会人が週末・夜間に学ぶ講義風景



平成22年度前期「現代家族生活と民法」
(大学院科目等履修)



平成22年度前期「地域とグローバル化」
(学部開放授業)

地域課題に沿ったフィールドワークを実施



平成22年度前期「都市近郊農業論」(大学院科目等履修)



年間10回開催「わだい浪切サロン」



「岸和田サテライト友の会」講演会



和歌山大学岸和田サテライトの紹介

1. 平成 22年度後期開講科目

授業内容、開講日時等については、17ページ以降をご参照ください。

大学院科目等履修

【経済学研究科】

「資産課税論－相続税法を中心に」(2単位)

「現代経営論－理論と事例から」(2単位)

「地方都市の地域づくり－中心市街地と住宅・居住環境」(2単位)

「地元学特論－あるもの探しのまちづくり」(2単位)

【教育学研究科】

「初等教育特論B」(2単位)

学部開放授業

「デザイン情報学入門」

〈これまでに関講した科目〉

【大学院科目等履修】租税法総論、現代家族生活と民法、都市近郊農業論、環境・自然エネルギー革命、経営史特論、地域産業クラスター論、現代日本地方財政論、現代の社会政策、所得課税論、原価計算論、税法と税務行政、生活環境計画論、現代行政作用法、経営学特論、グローバル経済論、自然環境・環境保全研究、現代日本税制論、観光まちづくり入門、中心市街地活性化論、現代日本経済論、公共経営論、カントリーライフ学、地域情報ネットワーク、現代企業経営論、地域経済論、地域政策、経営情報処理、企業経営論(以上経済学研究科) 初等教育特論A、初等教育特論B、初等教育特論C、学校リスクマネジメント特論A(以上教育学研究科) 【学部開放授業】地域とグローバル化、岸和田藩の歴史、観光きのう・きょう・あす、世紀初頭における日本と英国の小説

〈大学院生との交流〉

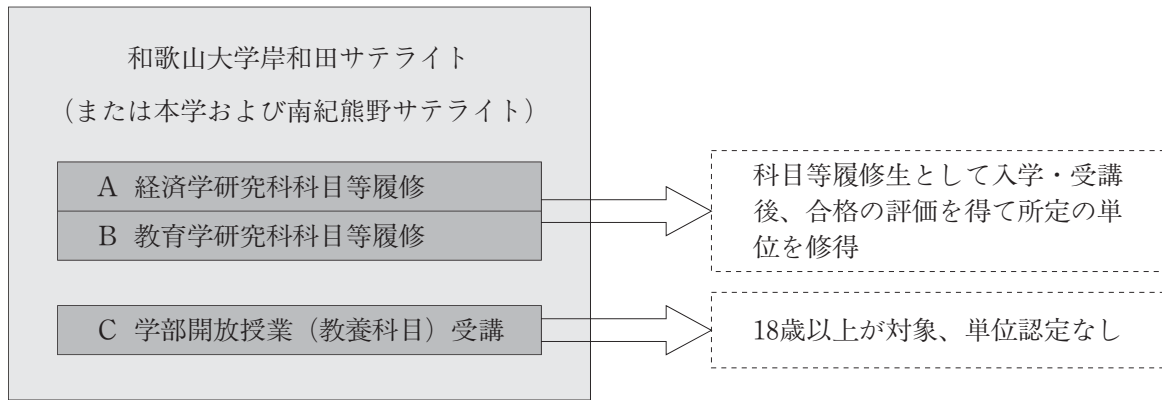
平成21年度より、岸和田サテライトで租税法を研究する修士課程を開講しています。現在、20代から50代の社会人15名が税理士資格取得をめざして学んでいます。

これらの大学院生や本学(和歌山市栄谷)に通学する大学院生も、岸和田サテライトでの開講科目を受講しています。



2. 和歌山大学岸和田サテライトでの受講モデル

① 自分のペースで、関心のある専門分野の知識や幅広い教養を身につけたい人



② さらに大学院(経済学研究科)に進み、修士の学位取得をめざす人
 <キャンパスは本学>

③ 税理士資格を目標に、大学院(経済学研究科)で修士の学位取得をめざす人
 <キャンパスは岸和田サテライトおよび本学>

社会人特別入試・一般入試

上記Aで修得した単位は、18単位を上限に、
 修士課程修了のための必要単位として認定されます。

②の場合

- ・社会人としての実務経験を2年以上有し、上記Aで6単位(3科目)以上を修得していれば、通常は2年の修士課程を最短1年で修了することができます(社会人短期履修制度)。
- ・3年または4年間で修士課程を修了する長期履修制度もあります。

③の場合

- ・「租税法」を研究科目として入学すると、修士課程修了に必要な単位修得と修士論文指導までが岸和田サテライトのみで可能です。
- ・2年間の修士課程を修了し、国税審議会に提出した修士論文が認定されると、税理士試験のうち、税法2科目の受験が免除されます。
- ・社会人短期履修制度は設けていません。

修士論文8単位を含む合計30単位修得で修士号が授与されます。

3. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修生制度」と「学部開放授業受講制度」があり、それらを岸和田サテライトで利用できます。

平成22年度後期に岸和田サテライトで受講できるコースの概要は以下のとおりです。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者あるいは大学卒業と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上
選 考	願書および履歴書等による入学者選考	なし（年齢確認のみ）
成績評価	あり	なし
単位認定	あり（成績評価「合格」の者）	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 28,800円（1科目）	登録料 7,000円 聴講料 10,000円（1科目）
受講期間	入学期を含む連続4学期（2年）間は履修が可能	登録後4年間の聴講申請が可能
修士課程への進学	経済学研究科	/
	科目等履修生として修得した単位を修士課程の必要単位として認定する既修得単位認定制度があります。	

大学院科目等履修生制度とは

【概要】

大学院（経済学研究科・教育学研究科）の授業を平日夜間および土曜日を中心に、浪切ホールで開講します。フィールドワーク（現地調査）を行う授業もあります。

入学資格は、大学を卒業した人および大学卒業と同等以上の学力があると認められる人で、書類審査等による入学選考があります。

科目等履修生として入学し、受講後に合格判定を受ければ、1科目につき2単位を修得できます。

また、本学（栄谷キャンパス）および南紀熊野サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講することができます。

【履修可能期間】

入学期を含む連続4学期（2年）間は受講が可能です。この場合、授業料のみが必要で、検定料・入学料は必要ありません。

【修士課程(経済学研究科)への進学】

既修得単位認定制度(単位認定システム)

本学大学院(経済学研究科)に入学した場合、修士課程の修了には30単位(修士論文8単位を含む)が必要です。その場合、入学前に本学およびサテライト(岸和田・南紀熊野)で科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として認められます。

経済学研究科では、修士の学位取得をめざす社会人のために、「社会人短期履修制度」や「長期履修制度」があります。ただし、「租税法」を研究科目とする場合、社会人短期履修制度はありません。詳しくは経済学部教務係(32ページを参照)にお問い合わせください。

教育学研究科では、社会人短期履修制度は設けていません。

学部開放授業受講制度とは

【概要】

学部授業(教養科目)を平日夜間および土曜日に浪切ホールで開講します。18歳以上であれば受講者として登録できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講していただけます。

本学(栄谷キャンパス)および南紀熊野サテライトで開講される学部開放授業についても、聴講申請のうえ、受講することができます。

【受講可能期間】

受講者登録の有効期間は4年間です。登録期を含む連続8学期間は、科目ごとの聴講料のみで受講できます。

大学院科目等履修生の募集

1. 出願および履修願の手続き

募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、17ページ以降をご参照ください。

募集人数

各科目とも、若干名

出願期間・出願方法

平成22年 8月9日(月)～8月31日(火)(必着)

出願書類等を岸和田サテライト宛に郵送してください。その際、封筒の表に「出願書類在中」と朱書きし、「特定記録」にて送付してください。持参による書類提出は、締切日に限り、9:00～17:00まで受け付けます。

【新規に出願される方】

入学資格

- ①大学を卒業した者
- ②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

入学資格について不明な点がある方は、和歌山大学教務課(32ページを参照)にお問い合わせください。振り込み後の返金はいたしかねます。

検定料

検定料 5,000円

出願書類

- 「岸和田サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙㉞)
- 「履歴書」(用紙㉟)
- 大学等の卒業証明書

①10ページの振込用紙(用紙㉟)を利用して最寄りの銀行等にて、検定料5,000円を振り込んでください。

②入学検定料を振り込み後、願書(用紙㉞)に必要事項を記入のうえ、振込用紙のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。

③卒業証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。

選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。結果については、後日、郵送でお知らせします。

入学科および授業料

入学科 10,000円

授業料 28,800円(1科目につき)

入学科・授業料の納付については、結果通知とあわせて案内を送付します。

【過去に科目等履修生であった方】

過去に科目等履修生であった方(既に履修可能期限が切れている方)が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。

【現在、科目等履修生である方】

A. 履修可能期間中の方

履修願の提出方法

「履修願」(用紙㊦)

「履修願」に必要事項を記入のうえ、「科目等履修生カード」のコピーを所定の位置に貼付してください。

授業料

授業料 28,800円(1科目につき)

授業料の納付については、後日、案内を送付します。検定料および入学料は必要ありません。

B. 履修可能期限が2010年9月30日の方

履修可能期限が2010年9月30日の方が「履修願」を提出される場合は、新規出願者の扱いとなります。

上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。

追加募集

上記の出願締切日までに定員に満たなかった科目については、下記のホームページにて追加募集のご案内をします。

<http://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/kishwada.html>

出願先・問い合わせ先

和歌山大学 岸和田サテライト

〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 岸和田市立浪切ホール2F

TEL & FAX 072-433-0875

E-mail kishwastaff@center.wakayama-u.ac.jp

本学(栄谷キャンパス)および南紀熊野サテライトにて開講される大学院授業の科目等履修については、教務課および南紀熊野サテライトにお問い合わせください。

問い合わせ先は、32ページをご参照ください。

学部開放授業受講者の募集

1. 登録および申請の手続き

募集科目

授業内容、開講日時等については、22ページをご参照ください。

募集人数

30名(先着順)

聴講資格

18歳以上の者(高校生は除く)。年齢確認のみで検定等はありません。

申請期間・申請方法

平成22年8月9日(月)～8月31日(火)(必着)

申請書等を岸和田サテライト宛に郵送してください。その際、封筒の表に「聴講申請書類在中」と朱書きし、「特定記録」にて送付してください。持参による書類提出は、締切日に限り、9:00～17:00まで受け付けます。

【新規に登録される方】

登録料および聴講料

登録料 7,000円

聴講料 10,000円

登録・聴講申請書類

「学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書」(用紙㊥)

①16ページの振込用紙(用紙㊤)を利用して最寄りの銀行等にて、登録料と聴講料の合計17,000円を振り込んでください。

②登録料等を振り込み後、申請書(用紙㊥)に必要事項を記入のうえ、振込用紙のC票「振込金受付証明書」を申請書の所定の位置に貼付してください。

【現在、聴講生である方】

A. 聴講可能期間中の方

聴講申請書類

「学部開放授業聴講申請書」(用紙㊦)

①16ページの振込用紙(用紙㊤)を利用して最寄りの銀行等にて、聴講料10,000円を振り込んでください。

②聴講料を振り込み後、申請書(用紙㊦)に必要事項を記入のうえ、振込用紙のC票「振込金受付証明書」を申請書の所定の位置に貼付してください。

聴講料

聴講料 10,000円

4年間の聴講可能期間中の方は、登録料は必要ありません。

B. 聴講可能期限が2010年9月30日の方

聴講可能期限が2010年9月30日の方が「聴講申請書」を提出される場合は、新規登録の扱いとなります。上記の【新規に登録される方】と同様の手続きをお取りください。

追加募集

上記の申請締切日までに定員に満たなかった科目については、下記のホームページにて追加募集のご案内をします。

<http://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/kishwada.html>

申請先・問い合わせ先

和歌山大学 岸和田サテライト

〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 岸和田市立浪切ホール2F

TEL & FAX 072-433-0875

E-mail kishwastaff@center.wakayama-u.ac.jp

本学(栄谷キャンパス)および南紀熊野サテライトにて開講される学部開放授業の聴講については、教務課および南紀熊野サテライトにお問い合わせください。

問い合わせ先は、32ページをご参照ください。

平成 22年度 後期 岸和田サテライト開講授業

1. 平成 22年度 後期 岸和田サテライト大学院授業科目

授業科目	資産課税論－相続税法を中心に		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	森本 由美子		
実施日・時間	10月5日(火) 18:00～20:30	①相続税法と相続法 相続税の課税方式 相続税の基本的仕組み	
	10月12日(火) 18:00～20:30	②相続税の納税義務者と課税財産	
	10月26日(火) 18:00～20:30	③相続税の課税価格	
	11月2日(火) 18:00～20:30	④相続税の総額	
	11月9日(火) 18:00～20:30	⑤相続税額の加算と税額控除	
	11月30日(火) 18:00～20:30	⑥贈与税	
	12月7日(火) 18:00～20:30	⑦財産評価	
	12月14日(火) 18:00～20:30	⑧申告と納付	
	12月22日(火) 18:00～20:30	⑨相続税計算演習	
	1月11日(火) 18:00～20:30	⑩相続税計算演習	

【講義内容】

相続税法の理論と計算を学習します。

- ①相続税法と相続法 相続税の課税方式 相続税の基本的仕組み
- ②相続税の納税義務者と課税財産
- ③相続税の課税価格
- ④相続税の総額
- ⑤相続税額の加算と税額控除
- ⑥贈与税
- ⑦財産評価
- ⑧申告と納付
- ⑨相続税計算演習
- ⑩相続税計算演習

【テキスト・教材】

未定 授業の初日に指定します。

毎回資料を配布します。

【事前学習】

市販されている租税法の基本的な本を読んでおいてください。

授 業 科 目	現代経営論－理論と事例から		
単 位 数	2	授 業 形 態	講義
担 当 教 員	吉村 典久、高見 直樹、李 東浩、Kupanhya LUMBIDI 厨子 直之、樋口 純平		
実 施 日 ・ 時 間	10月16日(土) 13:00~17:00	[吉村]	
	11月6日(土) 13:00~17:00	[高見]	
	11月20日(土) 13:00~17:00	[李]	
	12月11日(土) 13:00~17:00	[クパニ]	
	12月25日(土) 13:00~17:00	[厨子]	
	1月22日(土) 13:00~17:00	[樋口]	

【講義内容】

現代社会を代表する組織体である「企業」の経営のあり方について、各教員がそれぞれの専攻分野の立場から、多角的に分析を進めていく。

理論的な講義にくわえて、現実の動き、事例についても解説を行っていく。

- ・10月16日 [吉 村]：「経営学入門」 企業経営を分析する学である経営学の大枠について講義する。
- ・11月6日 [高 見]：「経営学史」 経営学研究の史的展開について講義する。
- ・11月20日 [李]：「グローバル・マネジメント」 日中企業の海外進出について講義する。
- ・12月11日 [クパニ]：「生産システム」 トヨタ生産方式など、もの作りについて講義する。
- ・12月25日 [厨 子]：「人的資源管理」 ヒトのモチベーション向上の手法について、受講者の実践知と結び付けて考えていく形で講義する。
- ・1月22日 [樋 口]：「国際人的資源管理」 人材マネジメントの国際比較について講義する。

【テキスト・教材】

特定のテキストは用いません。

各教員から、資料の配付、あるいは書籍・論文などの紹介を行います。

【事前学習】

特段の準備は必要ありません。

企業経営に関わって各自関心のある課題について、新聞(たとえば、『日本経済新聞』)、雑誌(『日経ビジネス』)、あるいはTV番組などで、情報を収集しておいてください。

授 業 科 目	地方都市の地域づくり－中心市街地と住宅・居住環境		
単 位 数	2	授 業 形 態	講義
担 当 教 員	足立 基浩・大泉 英次		
実 施 日 ・ 時 間	11月13日(土)	13:00～17:00	[足立・大泉]
	12月4日(土)	13:00～17:00	[大泉]
	1月8日(土)	13:00～17:00	[大泉]
	1月29日(土)	13:00～17:00	[足立]
	2月5日(土)	13:00～17:00	[足立]
	2月12日(土)	13:00～17:00	[足立・大泉]

【講義内容】

第1回：本講義の研究課題とディスカッション（足立・大泉）

第2～3回：地方都市の地域づくりと住宅・居住環境（大泉）

地域づくりの課題を住宅市場と住宅ストックの整備にそくして考えます。地域の住宅市場は、金融グローバル化、人口減少、都市の縮小という大きなトレンドのなかで様々な困難と課題を抱えています。大泉の2つの論文そして矢作弘氏の著書を参考にしながら、世界－日本－地方都市という3つのレベルにわたって、住宅問題の現状と今後の住宅政策のあり方について考えます。

第4～5回：地方都市の地域づくりと中心市街地（足立）

中心市街地の活性化を例にとり、街づくりの本質に迫ります。中心市街地の再生のために必要な3つのSの視点(センチメンタル価値、SWOT分析、セキュリティ(安全性)分析)などを意識しながら行う街づくりの研究です。「何もしないのがベスト」というリスク最小化の原則から脱却し、リスクをコントロールしながら大胆な施策を実行する街づくりが求められています。足立の2つの著書を参考にしながら、現在求められている中心市街地の活性化施策について学びます。

第6回：履修生による研究発表とディスカッション（足立・大泉）

【テキスト・教材】

足立基浩『シャッター通り再生計画』ミネルヴァ書房、2010年、2000円＋税

足立基浩『まちづくりの個性と価値』日本経済評論社、2009年、3400円＋税

大泉英次「アメリカ住宅市場と世界金融危機」和歌山大学経済学会『経済理論』第350号、2009年

大泉英次「住宅市場のガバナンス」和歌山大学経済学会『研究年報』第14号、2010年

矢作弘『「都市縮小」の時代』角川新書、2009年、705円＋税

【事前学習】

地方都市における住宅・居住環境の整備、そして中心市街地の活性化の必要性について、各自、考えをまとめておいてください。

授 業 科 目	地元学特論－あるもの探しのまちづくり		
単 位 数	2	授 業 形 態	講義・フィールドワーク
担 当 教 員	河音 琢郎・鈴木 裕範		
実 施 日 ・ 時 間	10月2日(土) 13:00~17:00 [河音]		
	10月30日(土) 【現地調査】 [河音・鈴木]		
	10月31日(日) 【現地調査】 [河音・鈴木]		
	11月27日(土) 【現地調査】 [河音・鈴木]		
	11月28日(日) 【現地調査】 [河音・鈴木]		
	12月18日(土) 13:00~17:00 [河音]		

【講義内容】

地元学とは、地元の人(土の人)と外部の人(風の人)とが協働して、地域の「あるもの探し」を通じて、地域の良さを再発見し、それをつないでいって、地域づくりに役立てていこうという実践的な営みです。この講義では、地元学の基本的な考え方や手法について学んだうえで、紀南地域(那智勝浦町)と泉州地域(岸和田市)との2度のフィールドワークで、「地域資源マップ」づくりという、地元学の基本的な手法に実際にとりくむなかで、地域づくりの実践的な力量を身につけていくことをめざします。

・第1回(10月2日)

テキストをもとに、地元学の基礎を学びます。同時に、第2回以降のフィールドワークと地域資源マップづくりの準備作業を行います。

・第2・3回(現地調査) 那智勝浦町太田流域、第4・5回(現地調査) 岸和田市

テーマごとに5~10人単位での班に分かれて、調査の方向性を確かめた後、地元の方と一緒に現場を歩いて回り、その調査結果を地域資源マップとしてまとめ、中間発表を行います。

現地調査は、南紀熊野サテライトと合同で実施します。

・第6回(12月18日)

岸和田市で実施したフィールドワーク、地域資源マップをもとに、それらを取りまとめ、最終発表とまとめを行います。

【テキスト・教材】

吉本哲郎『地元学をはじめよう』岩波ジュニア新書、2008年、ISBN:978-4-00-500609-0、780円+税

【事前学習】

テキストは、事前に読んだうえで、第1回目の授業に出席してください。

【注意事項】

第2回~第5回の現地調査にあたっては、以下の経費は自己負担となります。ご了解ください。

- ・現地までの交通費
- ・宿泊する際の宿泊費
- ・フィールドワーク実施にあたっての保険加入料

また、フィールドワークにあたっては、1日目の授業終了後、地元の方に参加いただいての懇親会を予定しています。参加は任意ですが、ふるってご参加ください。

現地調査にあたっての経費の詳細については、具体的に確定次第、サテライトオフィスを通じてアナウンスする予定です。

授 業 科 目	初等教育特論B－学校教育をめぐる原理・制度・実践		
単 位 数	2	授 業 形 態	講義
担 当 教 員	市川 純夫、久保 富三夫、越野 章史、豊田 充崇		
実 施 日 ・ 時 間	10月2日(土)	13:30～16:40	[越野]
	10月16日(土)	13:30～16:40	[越野]
	10月23日(土)	13:30～16:40	[市川]
	10月30日(土)	13:30～16:40	[市川]
	11月27日(土)	13:30～16:40	[豊田]
	12月4日(土)	13:30～15:00	[豊田]
	12月11日(土)	13:30～16:40	[久保]
	12月18日(土)	13:30～16:40	[久保]

【講義内容】

- 10月2日 越野① 近代学校教育制度の理念(1)－フランス革命と学校
- 10月2日 越野② 近代学校教育制度の理念(2)－明治維新と学校
- 10月16日 越野③ 近代学校の理念は実現するのか？ 再生産レビュー
- 10月16日 越野④ 現代における教育の不平等
- 10月23日 市川① 教育の営みとそのあり方の本質－教育思想の到達点、現在の子どもをめぐる状況
- 10月23日 市川② 教育の営みとそのあり方の本質－発達段階の特徴、発達の観点に立った教育
- 10月30日 市川③ 学校とは何か－脱学校論、現代の学校が直面している困難
- 10月30日 市川④ 学校とは何か－学校教員の仕事の本質、知育と徳育、学校が子どもに力をつける筋道
- 11月27日 豊田① 電子黒板やモバイル端末など進化する ICT機器を学習ツールとして活用する「未来型授業」とは
- 11月27日 豊田② 学力を向上させるために ICT活用授業はどうあるべきかについて
- 12月4日 豊田③ 子どもらの情報活用能力の育成のためにはどういった授業設計が必要か。アナログとデジタルを融合して展開する発信・表現型授業とは
- 12月11日 久保① 教育基本法改正で何が変わったのか(1)－旧教育基本法制定の経緯と改正論の系譜・論点
- 12月11日 久保② 教育基本法改正で何が変わったのか(2)－教育基本法改正の要点と教育実践①
- 12月18日 久保③ 教育基本法改正で何が変わったのか(3)－教育基本法改正の要点と教育実践②
- 12月18日 久保④ 教育基本法改正で何が変わったのか(4)－学校教育関係四法の改正と教育実践

【テキスト・教材】

授業時に担当者が紹介する。

【事前学習】

2. 平成22年度 後期 岸和田サテライト学部授業科目

授 業 科 目	デザイン情報学入門
授 業 形 態	講義
担 当 教 員	陳 謙、宗森 純、川角 典弘
実施日・時間	①10月1日(金) 18:00~20:30 デジタル技術を利用した映像加工や写真撮影技術の基礎知識
	②10月2日(土) 10:30~17:00 アナログからデジタルへ、高度情報化社会における画像処理の現状と問題
	③10月15日(金) 18:00~20:30 グループ討論技法の解説と導入
	④10月16日(土) 10:30~17:00 KJ法およびファシリテーション技法の解説と実習
	⑤10月22日(金) 18:00~20:30 デジタル技術を活用した地域ワークショップ動向と基礎知識
	⑥10月23日(土) 10:30~17:00 地域アイコンマップを活用したまちづくりとグループ討論作業
【講義内容】	高度情報化社会を迎えて、住民同士のつながりを強化し、地域のコミュニティ再生を促進するためには ICT (情報コミュニケーション技術)の積極的な活用が必要である。この講義では現代社会で身につけておくべきデジタルコミュニケーション技術の概観とグループワーク技法について紹介し、ITとデザインによる地域活性化のあり方について実習を交えながら概説する。
【テキスト・教材】	必要に応じ、プリント資料を配布するほか、参考図書を提示する。
【事前学習】	KJ法について理解しておいてください。まちづくりや地方地域の活性化について、広く興味を持ち、さらにデジカメ、パソコン、インターネットなどのデジタル情報技術を積極的に活用しようとする意欲を期待します。

3. 授業担当教員プロフィール

森本 由美子

MORIMOTO Yumiko

税理士、社会保険労務士
和歌山大学経済学部非常勤講師



岸和田サテライト担当科目

資産課税論

- 相続税法を中心に -

主な授業科目

租税法概論

吉村 典久

YOSHIMURA Norihisa

経済学部 ビジネスマネジメント学科
教授



岸和田サテライト担当科目

現代経営論

- 理論と事例から -

研究テーマ etc. 日本企業の組織・戦略、統治にかんする理論的・実証的研究

日本企業の多くは「親会社(たとえば、パナソニック)+グループ企業(たとえば、パナソニック電工)」というユニークな組織形態をもっている。このような組織形態のもつ合理性について、経営戦略論・組織論の観点からの研究をおこなっている。

また、こうした研究を発展させる形で現在は日本企業のコーポレート・ガバナンス(企業統治)の問題についての研究も進めている。

研究に関しては、上記のような上場子会社の統治にくわえて、いわゆる「同族企業(Family Business)」という存在にも注目している。

こうした研究の成果は、『日本の企業統治』(2007年、NTT出版刊)、『部長の経営学』(2008年、ちくま新書)で公開されている。

主な授業科目

企業戦略論、競争戦略論、経営学

高見 直樹

TAKAMI Naoki

経済学部 ビジネスマネジメント学科
准教授



岸和田サテライト担当科目

現代経営論

- 理論と事例から -

研究テーマ etc. ドイツ経営経済学史

ドイツ経営経済学者であるシュタインマン(Horst Steimann)の業績について注目し研究しています。

これまで日本においても、かれの方法論や企業体制論の領域については極めて多くの研究がなされてきましたが、私は、現在、かれの企業倫理論について注目し研究しています。シュタインマンは、ドイツの企業倫理研究においても重要な地位を占めています。かれは、1970年前後の時期に盛んに議論された「経営者の社会的責任」論の基本思考を明確にし、自らの企業倫理論を、「経営者の社会的責任」論に内在する問題点を克服するものとして提唱しています。

主な授業科目

経営学総論 II(=学説史)、経営学史特殊問題

李 東浩

LI Donghao

経済学部 ビジネスマネジメント学科
教授



岸和田サテライト担当科目

現代経営論

- 理論と事例から -

研究テーマ etc. 日中企業のコーポレート・ガバナンスの理論及び実態に関する比較分析

経済のグローバル化の進展とともに、従来、一国内における企業経営は不可避免的に国境を越え、国際経営(グローバル・マネジメント)レベルに上がってくることは多いです。企業が国際的な競争背景に置かれると、様々な面で国内での経営と異なるようになります。

主な授業科目

グローバル・マネジメント、コーポレート・ガバナンス論、中国企業の経営制度論



Kupanhy LUMB DI

経済学部 ビジネスマネジメント学科
教授



岸和田サテライト担当科目

現代経営論

- 理論と事例から -

研究テーマ etc. 日本的生産システム

- ①日本の製造企業における競争力の源泉に関する研究・分析
- ②日本の生産システム、競争力と Supply Chain management (SCM)
- ③現場改善
- ④海外の企業におけるリーン生産システムの分析

主な授業科目

日本の生産システム、Project management Operations management

厨子 直之

ZUSHI Naoyuki

経済学部 ビジネスマネジメント学科
准教授



岸和田サテライト担当科目

現代経営論

- 理論と事例から -

研究テーマ etc. ポスト成果主義の探究、医療機関における評価・報酬管理の研究

究極の研究テーマは、企業組織でヒトがやる気を感じて働くにはどのような仕組みが必要となるのかを明らかにすることです。なかでも、ここ数年関心を寄せているテーマは、以下の2つです。

(1)わが国の報酬制度の成果主義化の実態と今後の動向

具体的には、成果主義が有効に機能する条件について、とくに昨今の日本企業における職務設計の変化に焦点を当てて研究を進めています。最近では、従来の日本企業において「成果」とは何を意味していたのか、それは今日の成果主義で議論されるどころの「成果」といかなる共通点や相違点があるのか、さらに日本企業の成果主義は今後どのような方向に変革が加えられるのか(ポスト成果主義)、などの論点に関心を寄せています。

(2)サービス経済下における評価・報酬マネジメント

知識社会への移行に伴い、サービス産業の隆盛が喧伝されています。なかでも、医療機関は高齢社会の一層の進展とともに、その重要性がますます注目されています。ところが、高度な専門性を有した多職種の専門職が集まる医療機関では、従来の工業化社会を前提とした評価・報酬システムをそのまま適応することは困難となることが考えられます。そこで、彼らに医療サービスの質の向上へと動機づけるには、どのような評価や報酬システムが新たに必要になってくるのかに関心を寄せています。

主な授業科目

経営行動、人的資源管理論、基礎演習、会社と社会

樋口 純平

HIGUCHI Junpei

経済学部 ビジネスマネジメント学科
准教授



岸和田サテライト担当科目

現代経営論

- 理論と事例から -

研究テーマ etc. 組織と人材マネジメントの国際比較研究

- (1)電機、自動車、製薬、小売等の多様な産業を対象とした成果主義の国際比較研究をしています。
- (2)ハイテク型中小・ベンチャー企業を対象とした、企業家の経歴・経営指向と組織・人材マネジメントの国際比較研究をしています。
- (3)日本の多国籍企業におけるグローバル要員の人材マネジメントについて研究しています。

この数年、調査のフィールドにしているカリフォルニア州ベイエリア周辺地域です。サンフランシスコやシリコンバレーには、各種の大企業と共に多数のハイテク・ベンチャーが集積しています。

主な授業科目

国際人的資源管理、中小企業論



足立 基浩

ADACHI Motohiro

経済学部 経済学科
教授



岸和田サテライト担当科目

地方都市の地域づくり

- 中心市街地と住宅・居住環境 -

研究テーマ etc. まちづくり・都市再生・経済地理学

土地開発の意志決定・それを取り巻く法体系に関する実証研究。相続税や固定資産税などが土地市場に対してどのような効果を持つのかについての実証研究。

借地借家法についての研究。

英国定期借家権の経済効果、相続税の経済効果

日本とイギリスのまちづくり・都市再生・中心市街地の活性化

主な授業科目

土地経済論

大泉 英次

OZUMI Eiji

経済学部 経済学科
教授



岸和田サテライト担当科目

地方都市の地域づくり

- 中心市街地と住宅・居住環境 -

研究テーマ etc. 現代都市と住宅産業、金融制度との関係に関する研究

現代の都市開発において住宅産業や金融機関が果たしている役割とその課題について研究しています。

日本の住宅産業や金融機関の研究が中心ですが、欧米諸国との国際比較の研究も行っています。

私の著書から：『土地と金融の経済学』『住宅経済の構造変動』

主な授業科目

経済政策、都市政策、住宅政策、都市政策特殊問題



河音 琢郎

KAWANE Takuro

経済学部 経済学科
教授



岸和田サテライト担当科目

地元学特論

- あるもの探しのまちづくり -

研究テーマ etc. 現代アメリカの連邦財政構造に関する研究

1980年代のアメリカ財政赤字の巨額化と90年代のその縮小過程に焦点を当て、それと日米経済をはじめとした国際経済との関連を視野に入れながら、今日のアメリカ連邦財政の構造を明らかにする研究を行っている。



日本経済評論社、2006年



ミネルヴァ書房、2008年

主な授業科目

財政政策

鈴木 裕範

SUZUKI Hironori

経済学部 市場環境学科
准教授



岸和田サテライト担当科目

地元学特論

- あるもの探しのまちづくり -

研究テーマ etc. 食と文化を生かした地域づくりと地域活性化

「地元学」を軸に地域資源を活かした地域再生・活性化について幅広く調査研究をしており、とくに食と文化に着目した地域づくりを各地域で提案・活動をしている。地域との協働・学生とのフィールドワークにも力を入れている。最近の活動に北山村での家庭料理レストラン開設、茶人・川上小白と新宮市のまちづくり、那智勝浦町仲ノ町再生事業などがある。

主な授業科目

ジャーナリズム論、わき道の紀州学、熊野学、わかやま・食文化論

市川 純夫

CHIKAWA Sumio

和歌山大学
非常勤講師



岸和田サテライト担当科目

初等教育特論 B

研究テーマ etc. 人間の発達の保障と学校教育

(テーマ1) 教員養成カリキュラムの研究・・・教師として求められる資質とは何か、そしてそれは大学教育の中でどのようにして養成されるのかという問題を、アメリカ教育史における論議の検討を通して研究。

(テーマ2) 子どもの発達と学校教育・・・子どもの発達を励ますという立場から、学校教育の内容・方法のあり方を研究。

地域の教員、保護者等との交流・連携活動の中で、「発達を見る姿勢」(学文社)、「親と教師をはげます教育学」(たかの書房)の著書が生まれました。

最新の「親と教師をはげます教育学」の内容は以下の通りです。

- 第1章 教育の本質と教育基本法の意義
- 第2章 「発達する存在」としての子どもの見方
- 第3章 現代の子どもの姿と教育の課題
- 第4章 発達する存在としての親・教師
- 第5章 学校とは何かを考える
- 第6章 「授業の成立」を考える

主な授業科目

教育学概説A、B、教育方法概説、教育方法学特論1、発達支援教育特別研究1

久保 富三夫

KUBO Fumio

教育学部 学校教育
教授



岸和田サテライト担当科目

初等教育特論 B

研究テーマ etc. 教員の自主的・主体的研修保障制度の歴史と制度改革に関する研究

現職教員の自主的・主体的な研修機会の拡大を実践的課題とし、そのための戦後教育改革史研究、研修制度史研究と教員運動史研究を行ってきた。2005年度からは、短期的には日常的な研修機会の保障(回復・拡充)、中・長期的には「一定勤務年数での長期研修機会の付与制度」の創設を目指して、各地の実態把握と教育行政・教職員組合・研修受け入れ機関(大学院等)の教員研修に関する見解を把握し、政策提言ができる制度構想を作るための研究を進めている。

主な授業科目

学校経営特別演習、教育行政学特論、学校経営特論、教育行政学A、教育行政学B、教育法学、教育学演習D、教育政策論、生涯学習関連法規、生涯学習総合研究

越野 章史

KOSH NO Shoji

教育学部 学校教育
准教授

岸和田サテライト担当科目

初等教育特論 B

研究テーマ etc. 18世紀末フランスにおける公教育思想の研究

近代国民国家が公教育制度の整備を必要とした背景を探り、現在までの学校教育に、歴史的にどのような人々のどのような要求が流れ込んでいるのかを明らかにしたいと考えています。また、現代社会の階層問題、不平等問題と学校教育の役割についても関心をもっており、これに関わる諸理論の批判的検討を行っています。

主な授業科目

豊田 充崇

TOYODA M ichitaka

教育学部 学校教育
准教授



岸和田サテライト担当科目

初等教育特論 B

研究テーマ etc. 情報教育、情報モラル・セキュリティ教育、ICT活用による学力向上効果の検証等

各教科を含む情報関連授業のカリキュラム開発

マルチメディアや情報通信ネットワークを活用した授業実践またはマルチメディア教材の開発・研究

総合的な学習の時間と情報教育とのかかわり

学校教育現場における学習環境や指導体制

学校教員の習得すべき情報スキルの研究など

主な授業科目

コンピュータ入門A 学習指導におけるコンピュータ活用 デジタル教材研究 マルチメディア表現

陳 謙

CHEN Qian

システム工学部 デザイン情報学科
准教授



岸和田サテライト担当科目

デザイン情報学入門

研究テーマ etc. 3次元形状復元、実時間3次元形状計測、カメラの較正

3次元形状復元：回転台にのせた物体を一台のビデオカメラで撮影した動画像から、物体の特徴点を追跡して、それらの点が同軸回転運動していることを利用して、物体の3次元形状を復元する。

実時間3次元形状計測：高速光スイッチを用いてパルス変調光の束を生成して計測対象に投射して、別の角度でカメラでその様子を撮影する。撮影した光を投射光を生成する光スイッチと連動するもう一つの光スイッチで復調処理をすることによって、物体の形状を現す距離画像を獲得する。

カメラの較正：平行円パターンを用いて、カメラの内部パラメータ(焦点距離など)と外部パラメータ(カメラの位置、向きなど)を推定する。円の対称性、無方向性をうまく利用することにより、簡便で高精度なカメラ較正が実現できる。

主な授業科目

画像処理、動画画像処理特論

宗森 純

MUNEMORI Jun

システム工学部 デザイン情報学科
教授



岸和田サテライト担当科目

デザイン情報学入門

研究テーマ etc. 2世紀の基盤技術としてのグループウェアに関する研究

光ファイバを用いた高速ネットワークで各家庭が結ばれ、家庭に居ながら仕事をしたり教育を受けたり、携帯情報端末を持ち歩き、どこでも仕事や遊びができる時代がやって来ています。そこで、この環境でどのようなサービスを提供するシステムが必要なのか、お互いに離れて作業することにはどのような影響があるのか、あまり専門家とはいえない人でも使えるソフトウェアはどのようなものにすればよいか、などについて主に研究しています。ネットワークを介して複数の計算機で協調しながら、知的な作業をおこなうシステムをグループウェア(**Groupware**)と呼んでいます。私が研究・開発しているグループウェアには、GPSを用いた故宮博物院ガイドシステム「北京エクスプローラ」、GPSを用いた協調型モバイルゲームシステム「電子宝探し」、絵文字によりコミュニケーションをとる「絵文字チャットコミュニケーター」、発想支援グループウェア「郡元」、遠隔ゼミナール支援システム「RemoteAdamant」などがあります。現在、これらのシステムの多方面への応用を検討しています。

北京の故宮博物院でガイドシステム「北京エクスプローラ」のテスト中。GPS付携帯情報端末(PDA)と無線LANによるガイドシステム。参加者全員の位置情報がリアルタイムでPDA上の地図に示され、画像のリアルタイムな共有と中国語、英語、日本語でのチャットが可能。手前が太和殿、奥が太和門。

主な授業科目

グループウェア論、システム開発論、基礎情報工学、情報システム設計基礎

川角 典弘

KAWASUMI Norhiro

システム工学部 デザイン情報学科
講師



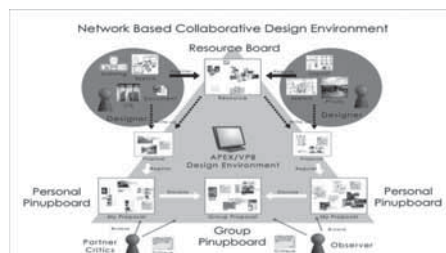
岸和田サテライト担当科目

デザイン情報学入門

研究テーマ etc. 空間設計へのデジタル技術利用と情報化デザイン環境の構築

ITはあらゆる産業分野に革新をもたらしつつあります。一方で、デザイン分野(建築・都市計画等)の情報化やIT利用は進んでいるとはいえません。オフィスへのPC導入台数やCAD/CGシステムの利用は拡大しましたが、デザインの進め方や作業環境そのものは従来の手法とあまり変わっていないといえるでしょう。

当研究室では、新しい企業活動のインフラとしてのグローバル・ネットワークに着目し、遠隔地に離れた設計者、デザイナー、技術者が協創作業(コラボレーション)によるモノづくりやデザイン教育を行うためのシステム環境の開発や作業環境のデザインに取り組んでいます。



主な授業科目

色彩学、構成基礎演習、メディアデザイン演習、CAD/CG演習、空間情報デザイン論

問い合わせ先

用 件	窓 口	連 絡 先
岸和田サテライトで開講する授業全般に関すること	和歌山大学 岸和田サテライト	〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 岸和田市立浪切ホール2F TEL&FAX：072-433-0875 E-mail: kishwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp http://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/kishwada.html 窓口時間：火曜日～土曜日の9:00～17:00 (日曜日、祝日、第3月曜日とその翌日の火曜日は休業) *サテライトオフィスに来られる場合は、事前に業務日、窓口時間をご確認ください。
栄谷キャンパスで開講する学部開放授業、入学資格、科目等履修生、単位認定等に関すること	和歌山大学教務課	〒640-8510 和歌山市栄谷930 TEL：073-457-7113 E-mail: kyoumu@center.wakayama-u.ac.jp 窓口時間：9:00～17:15(土日祝日を除く)
	経済学部教務係	TEL：073-457-7805 E-mail: egaku1@eco.wakayama-u.ac.jp
	教育学部教務係	TEL：073-457-7219 E-mail: eduadmin@center.wakayama-u.ac.jp
南紀熊野サテライトで開講する授業に関すること	和歌山大学 南紀熊野サテライト	〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9 Big.U内 TEL：0739-23-3977 FAX 0739-23-3978 E-mail: nankikumano@center.wakayama-u.ac.jp http://www.wakayama-u.ac.jp/kinan/